

令和5年3月3日

保護者 様

流山市立おおたかの森小学校

校長 角 龍 幸

令和4年度 学校評価アンケートの結果について（報告）

弥生の候、保護者の皆様には、平素より本校の教育に対しまして、温かいご支援・ご協力をいただきまして誠にありがとうございます。

さて、令和4年度の学校評価の結果がまとまりましたので、下記のとおり報告いたします。

本校では、保護者の皆様を対象にした学校評価アンケートの他、児童を対象にした「学習や生活について」のアンケート、職員による自己評価を実施しています。また、これらの結果をもとに、よりよい学校運営を図るため3月1日（水）に学校関係者による学校評価委員会を開催いたしました。保護者の皆様や児童からのアンケートの結果、そして学校評価委員及び保護者の皆様にご評価いただきました学校の成果と課題を真摯に受け止め、これからもよりよい教育活動をめざして子どもたちの指導にあたりたいと思います。今後ご協力、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

記

1 集計結果・・・様式1

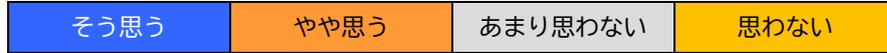
2 結果から・・・様式2

(様式1)

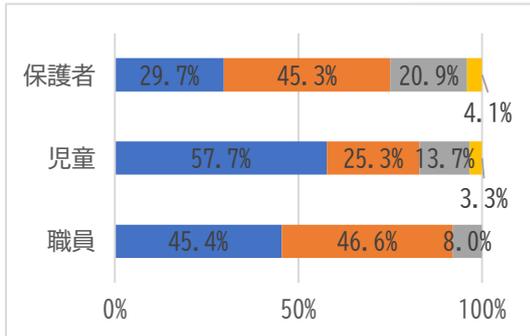
令和4年度 学校評価アンケート集計結果

流山市立おおたかの森小学校

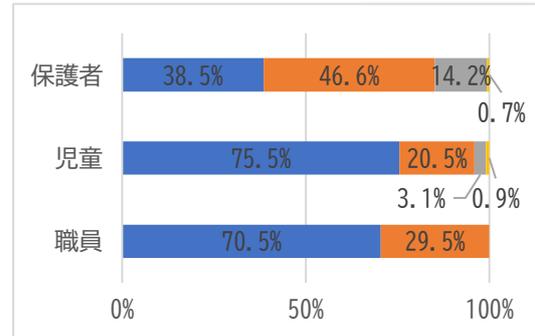
グラフの系列



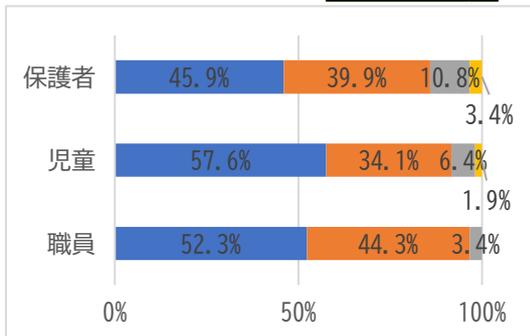
1 子供の健康・体力づくり **つよく**



2 わかりやすい授業 **かしこく**



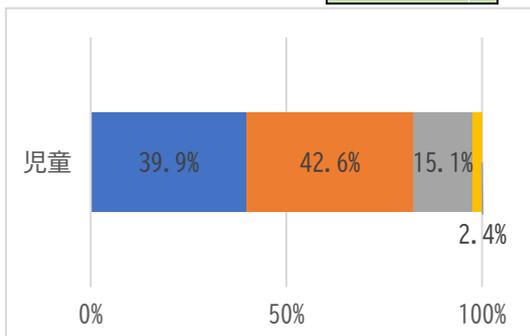
3 家庭での学習 **かしこく**



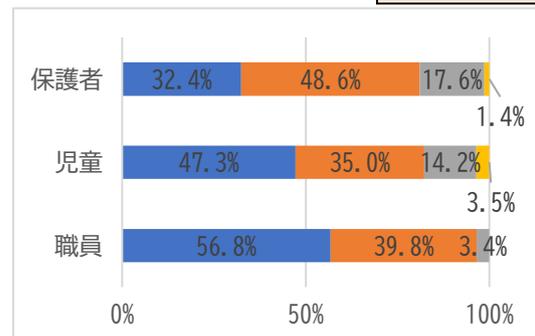
4 子供の読書 **かしこく**



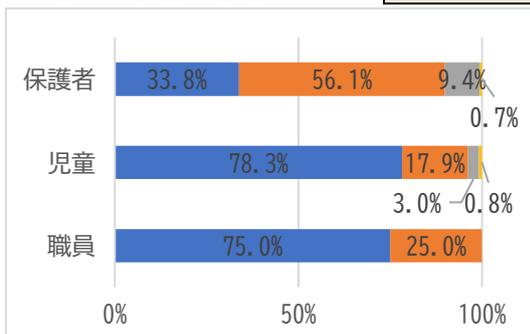
5 授業への取組 **かしこく**



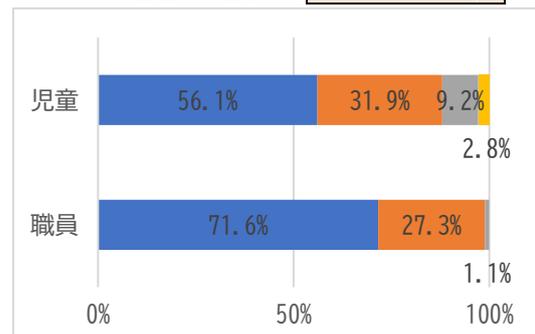
6 周りの人へのあいさつ **あたたかく**



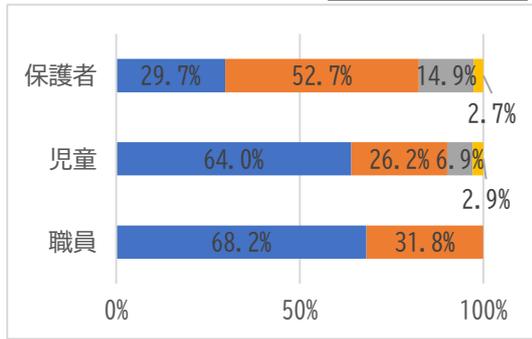
7 明るい学校・学級づくり **あたたかく**



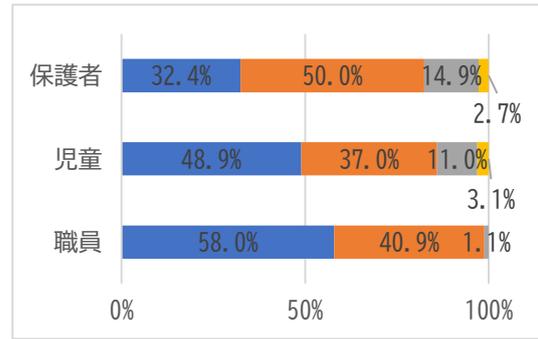
8 個性の伸長 **あたたかく**



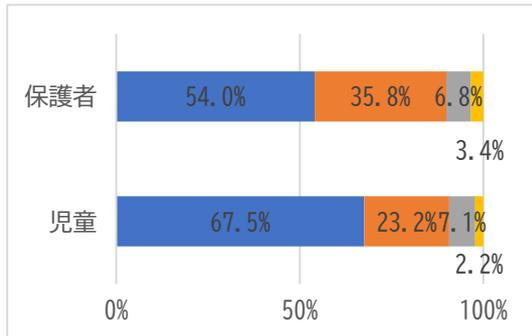
9 個に応じた指導 **あたたかく**



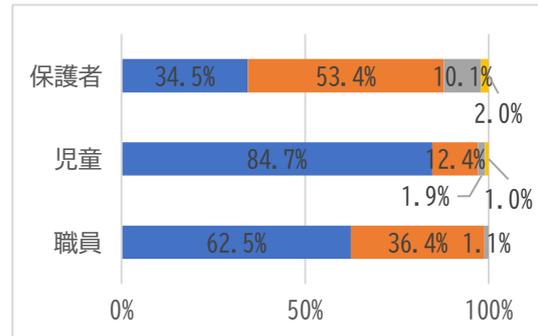
10 何事にも取り組もうとする姿勢



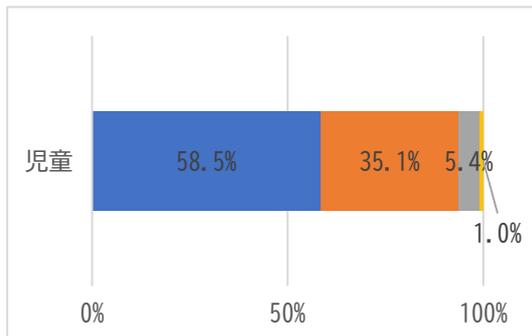
11 学校が楽しい



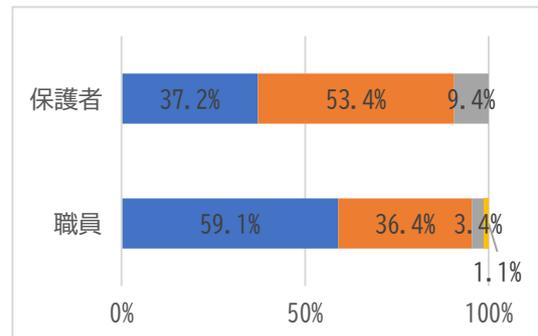
12 学校行事や活動の充実



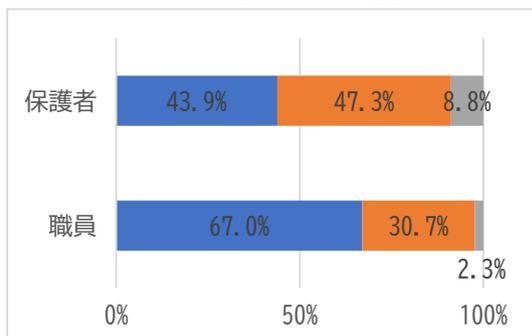
13 清掃活動の充実



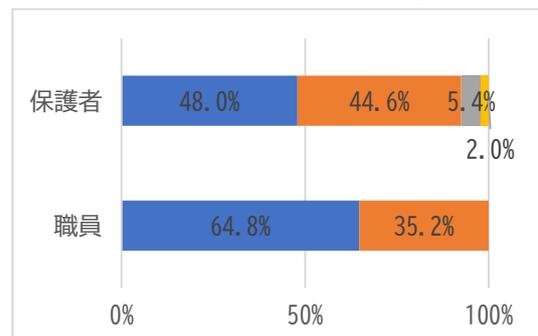
14 学校だよりやホームページの充実



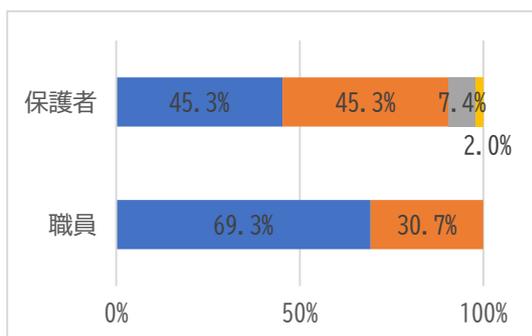
15 家庭との連携



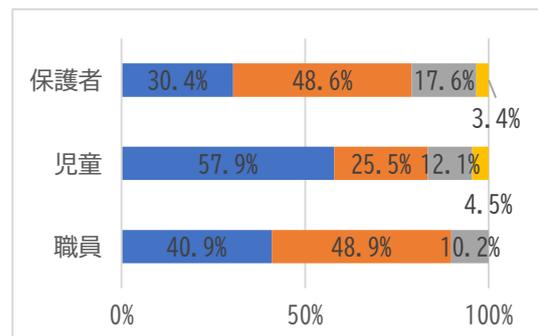
16 子供たちの安全を守る



17 教育相談の充実



18 異学年交流・小中連携



(様式2)

1 はじめに

令和4年度学校評価保護者アンケート実施にあたり、多くの保護者の皆様より各項目や内容等の評価を頂戴しましたことに心より感謝いたします。

本校では、学校教育目標「未来にはばたく子供を育てる～笑顔あふれる学校～」、合言葉を「つよく かしこく あたたく」¹として教育活動を進めてきました。また、ウィズ・コロナとなって3年目となり、新型コロナウイルス感染症から子供たちを守り、児童の安全・安心を第一にしながら、教育活動を進めてきました。

本結果を教職員でしっかりと分析し、成果は更なる一步を目指し、課題は成果に転じるよう改善を図っていきたいと思います。

2 学校教育目標の具現化に向けた取組

(1)「つよく」

「子供の健康・体力づくり」については、コロナ禍の中、工夫を凝らしながら体育授業を中心とし、様々な活動を通して、体力の向上と心のバランスを図れるように指導してきました。3年ぶりの水泳指導や冬の持久走記録会、縄跳びの取組もその一つです。また、休み時間などには外遊びを奨励し、子供たちの自由遊び、学級レクを行い、体力向上につなげています。また、体力向上を目的とした、千葉県の施策である「遊・友スポーツランキングちば」のランキングにも取り組んでいます。

しかしながら、肯定的な回答の割合が昨年度よりも下がっています。今後も、体育の授業を中心に休み時間に児童が体を動かす機会を意図的・計画的に設けながら、児童の健康体力向上に向けた取組を行っていきます。

(2)「かしこく」

「わかりやすい授業」については、児童の肯定的な回答が96%と肯定的な評価を得ていますが、保護者の肯定的な回答が約85%と約10%程度の乖離が見られます。教員は、日々、わかりやすい授業に向けて教材研究や授業力向上に努めています。今後も研鑽を積むとともに、授業参観や面談等をおし、保護者の皆様に授業の様子や授業に向けての取組について知っていただく機会を設けていきます。

「家庭での学習」については、家庭で学習に取り組んでいるという設問に対し「そう思う」と回答している児童・保護者が半数程度いる反面、1割程度の児童・保護者が家庭学習に取り組んでいないと回答しています。学校では、児童の実態に応じ、復習を中心とした宿題を出しています。従来のドリルやプリントの他、タブレットを用いた課題も提供しています。一定数、家庭学習に取り組めていない児童がいることから、家庭と連携し、家庭学習の定着に努めていきます。

「子供の読書」については、昨年同様、肯定的な回答の割合が他の設問に比べて低くなっています。学校では、学校図書館司書の活用、図書館だよりの発行、ブックトラックを利用したミニ図書館、授業における並行読書、ボランティアによる読み聞かせ等、本に触れる機会を意図的に作ってきました。しなしながら、その取組が、家庭での読書を含めた児童の読書習慣に十分につながっていないようです。今後も、様々な学習をおし、本に触れる機会を増やしていきます。

「授業への取組」については、昨年度より肯定群の回答が増え、約8割の児童が、授業に主体的に参加し、取り組んでいることがわかります。しかし、約2割の児童が、授業に対し消極的であると読み取れます。タブレット端末を活用したり、授業を改善したりしながら、どの児童も主体的に授業に参加し、学習を進めることができる授業づくりに努めていきます。

(3)「あたたかく」

「周りの人へのあいさつ」については、保護者・児童ともに8割程度が肯定的な回答をしています。学校では、児童同士、職員、来校者に限らず、スクールガードや旗振りの方にも、進んであいさつをするよう指導しています。ご家庭でも「おはよう」「ありがとうございます」「おやすみなさい」などのやりとりができるよう引き続き声かけをお願いします。学校でもご家庭や地域のご協力を得ながら、引き続きあいさつの大切さを指導していきます。

「明るい学級・学校づくり」については、96%以上の児童が肯定的な回答をしています。保護者についても、9割程度の方から肯定的な回答をいただいています。学校では、日常的な見守りを中心に、年2回の学校生活アンケート、加えて、3～6年生では年2回のQ-U（楽しい学校生活を送るためのアンケート）、5・6年生ではストレスチェックを実施し、得られた情報から児童の実態把握に努めています。今後も、児童の悩みや課題を早期に察知し、ご家庭と連携しながら、児童が安心して明るく生き生きと生活できる学校づくりに努めていきます。

尚、「いじめはあってはならない、いじめは許さない」「いじめは、いつ、どこにでも、誰にでも起こり得る」の方針のもと、常に危機感をもち、いじめ・差別等が起きない、起こさないように児童支援や指導・観察を重視し、学校体制でいじめの早期発見・対応をしてまいります。

「個に応じた指導」「個性の伸長」については、9割程度の児童から肯定的な回答を得られています。しかしながら、保護者の「そう思う」との回答が3割強と低いです。より一層児童理解に努め、一人一人の困り感や状況に寄り添った指導、児童一人一人のよさを見取り、認め、励まし、児童の自己肯定感が高まるような接し方をこれからも心掛けていきます。

(4) 家庭との連携に関する項目

「子供たちの安全を守る」「学校だよりやホームページの充実」「家庭との連携」「教育相談の充実」の4項目については、9割以上の保護者の方から肯定的な回答をいただきました。しかしながら、「思う」よりも「やや思う」の回答の割合が高く、まだまだ充実の余地があると考えます。

「子供たちの安全を守る」については、学校では交通安全・災害・不審者等に対する指導を日々行っています。登下校については、PTAや地域の方々のご協力を得ながら、安全確保に努めています。また、職員による不審者対応訓練等も行い、万が一を想定した研修も行っています。

「学校だよりやホームページの充実」については、各種たより、ホームページ及びメール配信にて、教育活動の様子についての発信を行っており、ホームページも日々多くの閲覧をいただいております。今後も、様々な機会に、様々な媒体を使い、より多くの

情報発信を行い、学校の教育活動の様子を知っていただければと思います。

「家庭との連携」「教育相談の充実」については、児童の成長には学校と家庭が両輪となって連携することが必要であるという考え方のもと、学級担任との日常的な連絡に加え、保護者の皆様からの相談については、教育相談担当職員による相談、スクールカウンセラーによる相談の機会を設け、対応してきました。

今後も、児童・保護者の皆様のニーズにお応えできるよう、活動を充実させるべく努力していきたいと思います。

(5) 児童に関する項目

「何事にも取り組もうとする姿勢」については、保護者・児童ともに8割以上の肯定的な回答があったものの、14.1%の児童、17.6%の保護者が「あまり思わない」「思わない」と回答しています。また、「学校行事や活動の充実」については、84.7%の児童が「そう思う」と回答した反面、「そう思う」と回答した保護者の割合は34.5%となり、大きな差が見られます。コロナ禍においても、教育活動を止めないことを念頭に、工夫を凝らしながら、多くの学校行事を行い、多くの児童が活躍できる場を設けてきました。今後も、感染症拡大防止の制約がある中ではありますが、学校行事や教育活動を充実させ、児童が自らやりたいことを見つけ、活動する場を広げていくことで、児童の主体性や意欲を高めていきたいと考えております。また、多くの保護者の皆様に学校行事や活動の取組を知っていただくためにも、引き続き、取組についての情報発信に努めていきます。

「学校が楽しい」については、9割以上の児童、保護者が肯定的な回答をしています。楽しい理由はさまざまと推察されますが、学校生活が充実しているのは大変うれしいことです。しかしながら、1割程度の児童・保護者が否定的な回答をしています。この1割の児童・保護者の割合が少しでもゼロに近づくよう、わかる授業の実践、安心して生活できる学級づくり、学校行事の充実など、児童が楽しく過ごせる工夫をしていきます。

「清掃活動」については、9割以上の児童が肯定的な回答をし、そのうち「思う」と回答している児童が6割程度おり、多くの児童が一生懸命そうじをしていることがわかります。今後も、自分たちが使っている学校をきれいにしようと思える心を育てていきます。

「異学年交流・小中連携」については、16.6%の児童、21%の保護者が「あまり思わない」「思わない」と回答しています。本校では、1・6年、2・5年、3・4年をペア学年としてレク活動を行う「ふれあい活動」を学期に1回実施し、異学年交流を行っています。また、その外にも授業などで異学年に向け、調べ学習の結果や製作活動の成果を発表をするなどの活動にも取り組んでいます。さらに、小中連携では、レク的な行事はなかったものの、小中合同避難訓練を実施しました。今後も異学年の交流活動のほか、市内唯一である小中併設校のよさを生かし、児童生徒の連携・交流を図っていきます。

3 学校評価委員の皆様からの御意見等

- ・ 自分の職場で話題になったのだが、上司など目上の人に対する挨拶ができない人が最近増えているようである。上司は友達ではないからというのが理由とのことである。小さい頃から「おはよう」「こんにちは」「ありがとう」「おやすみなさい」などのやりとりの中で、挨拶の大切さについて学ばせることの大切さを感じている。
- ・ 6年生を送る会の参観をしたのだが、大変感動した。1年生から6年生の成長がはっきりとわかった。1・2年生はかわいいという感じだが、5・6年生はさすがだなという感じ。6年間をとおし、確実に子供が成長しているということを感じることができた。また、気になる子もいたが、子供たち同士、互いに認め合いながら1つのものをつくる大切さを感じることができた。
- ・ 6年生を送る会の発表や校長先生のお話から、以前は相手への一方通行のコミュニケーションが多かったが、今では相手との双方向のコミュニケーションが増えていると感じた。これからも双方向のコミュニケーションを進めて欲しい。
- ・ 安全について気になることがあるが、まずは、大人自身の意識が大切である。例えば、信号無視を平気でする大人がいる。子供を守っていなければならぬと日々感じている。
- ・ 地域で子供があいさつや会話をしてくれることがある。会話の内容からちょっとした感動を分けてもらうことがある。とてもうれしい出来事であった。

4 まとめ

各教育活動、指導等への評価、貴重なご意見ご期待については、真摯にとらえて、今後とも感染状況が続く懸念がある中ですが、次年度に向け、児童のことを第一に考えた創意工夫ある教育計画の充実、価値のある教育活動の実施につなげてまいります。おたかの森小学校の児童が「つよく かしこく あたたく」を合言葉に学校生活を充実させ、大きく成長できるよう引き続き取り組んでいきます。また、児童の心身の健やかな成長を願い、学校・保護者・地域との連携をさらに密にし、教育活動の充実に努めてまいります。今後ともご支援とご協力をお願いいたします。